

令和8年第1回定例会・一般質問

○日 時 令和8年3月9日（月）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	大河原 昭洋	<p>1. 大雪による倒木・停電対策の強化について (山村再生課・地域整備課・総務課)</p> <p>(1) 大雪による倒木被害を未然に防ぐため、「智頭町危険木事前伐採推進事業費補助金制度」を設け、家屋や公共施設周辺の危険木の予防的伐採が推進されているが、これまでの実施件数と、その減災効果をどのように評価しているのか。</p> <p>(2) 現在、町と県、電力、通信事業者の4者により、倒木の危険がある樹木等の事前伐採が行なわれているが、さらに森林所有者も加え、広域的な予防伐採を加速させる考えは。</p> <p>(3) 本町は令和5年4月に智頭町森林組合と「災害時における倒木処理業務に関する協定」が締結されているが、過去発生した大雪の際、この協定に基づきどの程度迅速に道路開通や停電復旧支援が行われたのか、また課題は。</p> <p>2. 地域ブランド化戦略について（企画課）</p> <p>(1) 木材価格の低迷が続く中、「智頭杉」の付加価値向上とブランド再確立に向け、智頭杉のロゴマーク化やユニークな付加価値の向上、さらには「地産他消」の推進による経済循環を強化させる考えは。</p> <p>(2) 森林セラピーや智頭宿、板井原集落、そして諏訪神社の柱祭りといった観光資源に一貫したストーリー性を持たせ、関西圏やインバウンド戦略も含め「智頭ブランド」として発信する考えは</p>	9:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
2	岡田 光弘	<p>1. 人口減少下での町運営の基本的なビジョンについて (総務課・企画課・教育課)</p> <p>人口減少が継続しているなか、住民サービスを維持し、住民満足度を上げながら、町を運営していくためには、オール智頭町で知恵を結集して取り組んでいく必要があると考える。未来志向で町としてどのように取り組んでいくのか、その姿勢を問う。</p> <p>(1) 現時点で、本町の人口減少の実態をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) 人口減少がもたらす影響の中で、大きなものは何で、それに対して、基本的にどのような対応を描いているか。</p> <p>(3) 教育現場における少子化の影響について、本町としてどのようなことが考えられ、これを克服するためにどのような対応を考えられているか。</p> <p>(4) 10年後、20年後の予測される人口減少社会でも一定の住民サービスを維持していけるように、現段階で準備していくこととして重要と考える視点はどのようなものか。</p> <p>(5) 智頭町らしさを前面に出し、人口減少社会を克服していくためにオール智頭町での運動を展開していくために、より多くの住民に智頭町のまちづくりの理念を深く理解していただく取り組みが必要ではないか。</p>	9:40
3	波多 恵理子	<p>1. 空き家対策について (企画課)</p> <p>空き家対策について令和6年9月の定例会で答弁のあった3点について、進捗状況と今後の見通しについて問う。</p> <p>(1) 空き家問題を自分事としてとらえてもらうための啓発やきっかけづくりにどのように取り組まれたのか。</p> <p>(2) 空き家バンクの登録基準の見直しは検討されたのか。</p> <p>(3) 空き家対策の業務全般で体制強化はどのように取り組まれているのか。</p> <p>2. 移住定住対策について (企画課)</p> <p>地域活性化や移住定住の促進につながる可能性があるとして、国も推奨している「二地域居住」に関して問う。</p> <p>(1) 今年度の実証実験の結果も含め、「二地域居住」の事業展開の必要性など、現状認識を問う。</p> <p>(2) 「二地域居住コーディネーター」の配置、特定居住促進計画」策定が新年度予算に盛り込まれているが、その目的や目指す効果について問う。</p> <p>(3) 空き家対策、移住対策は連携が必要と考えるが、今後の展開、方向性について問う。</p>	10:30

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
4	西尾 寿樹	<p>1. 急速に進化する生成AIの活用について（総務課）</p> <p>(1) 行政運営を効率的に行うためにもAIの活用は必要不可欠と思うが、どこまでの範囲でAIの活用を進めて行くのか、鳥取県では人間主導の「ええ愛ガイドライン」があるが、本町のガイドラインはどのように進められているのか。</p> <p>2. 小学生・中学生のタブレット端末の活用とSNSに対する対応について（教育課）</p> <p>(1) 鳥取県では子どもの読書活動推進ビジョンを公表している。全ての子どもが読書に親しみ、心豊かな経験を通じて生きる力を育むことを推進する計画であり、学校図書館のDX化や本を読まない子どもの増加をくい止めるとあるが、本町のタブレット端末の活用については現状どのように進められているのか。</p> <p>(2) ALT外国語指導助手とタブレット端末を活用した授業との融合性についてはどのように対応しているのか。</p> <p>(3) SNSは依存性が高く、いじめや犯罪・睡眠不足の温床となっているが、本町として利用時間などに独自の制限を設ける考えはないか。</p> <p>(4) SNSのトラブルは家庭での使用中に起きやすく責任の所在が曖昧であり、学校や教育委員会がどう支援するのか、保護者の責任として家庭内での親の役割が大切であり、PTAや保護者の集まりの中で自宅でのタブレット端末の活用や制限の話し合いは行われているのか。</p> <p>(5) 全国では教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを定めている自治体は5割程度である。GIGAスクール構想に基づき教育DXが進展する中で、教育委員会や学校に必要とされるセキュリティ対策は高度化している。 教育委員会は教育情報セキュリティポリシーのガイドラインの策定について検討されているのか。</p>	11:00
5	谷口 雅人	<p>1. 重要文化的景観の活用について（教育課・企画課）</p> <p>(1) 町民の多くに認識、浸透していると感じられない。その価値を広く町内外にアピールする必要があるがどう考えているか。</p> <p>(2) 同時期に認定された東京都葛飾区柴又の取り組みは大いに参考になると思うが、本町の今後の取り組みについて問う。</p> <p>(3) 滞在型、体験型交流人口の拡大に貢献すると考えるがどうか。</p>	13:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
6	仲井 荃	<p>1. 智頭町景観条例の改正について（企画課）</p> <p>(1) 土師地区において計画されている太陽光発電事業に対して、住民の反対の声が上がっているにもかかわらず工事が進められようとしている。</p> <p>今後の対応として、この度のような事業者と地域住民との対立を防ぐためにも、設計段階での届出や事前協議を必須とする、などの条例の改正が必要だと考えるが、町長の見解を問う。</p> <p>(2) 智頭町景観計画において、概ね5年ごとに見直しを行う事となっており、今年度がその年となっている。今後どのようにして見直しを行っていくのか。</p>	13:40

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。